並べ替え

テーブルのレコードを、指定したフィールドの順に並べ替えて、新しいテーブルを作成する

◇機能

《並べ替え》は、開いているテーブルのレコードを、キーにしたフィールドの値の順（昇順または降順）に並べ替えて、新しいテーブルを作成する機能です。キーは複数指定でき、1つ目のキーの値が同じレコードは2つ目のキーの順に並びます。元のテーブルは変更されません。

元のテーブル

売上日	商品No	単価	数量
2024/04/10	B02	800	3
2024/05/20	A01	1200	4
2024/06/15	C03	500	10
2024/07/01	A01	1200	2



並べ替えたテーブル（キー：商品No、その他：すべて）

商品No	売上日	単価	数量
A01	2024/05/20	1200	4
A01	2024/07/01	1200	2
B02	2024/04/10	800	3
C03	2024/06/15	500	10

※作成するテーブルのフィールドは、キーにしたフィールドがキーの順に先頭に並び、その後に「その他出力フィールド」で選択したフィールドが並びます。

※「その他出力フィールド」を選択しない場合は、キーにしたフィールドだけのテーブルになります。

※すべてのキーの値が同じレコードは、元のテーブルの順のまま並びます（降順の場合も同じです）。

※フィールド名・データ型・書式と値は、元のテーブルと同じです（前後の空白もそのままです）。

◇メニュー

《加工》-《並べ替え》

※テーブルを開いている場合に使用できます。開いているテーブルが並べ替えの元のテーブルになります。

※テーブルの画面で条件式を設定している場合は、その条件式が「条件式」に入力された状態で開きます。

※操作ログから並べ替えのコマンドを修正することもできます（「■ 操作ログからコマンドを修正する場合」参照）。

■ 操作ログからコマンドを修正する場合

操作ログで並べ替えのコマンドを修正すると、コマンドの内容が設定された状態で画面が開きます。

※キーのフィールドが、コマンドに記述された順に選択され、「D」が付いたキーは降順になります。

※「その他出力フィールド」も、コマンドのフィールドが選択されます。テーブルにないフィールドは選択されません。

※条件式と保存先は、コマンドの内容がそのまま入力されます。テーブルの画面で条件式を設定している場合は、その条件式が入力されます。

© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

◇設定内容



1. 元のテーブル　：並べ替える元のテーブルの、フォルダ名とテーブル名が表示されます。

2. 《フィールド選択》ボタン　：フィールドの一覧を開き、キーにするフィールドをまとめて選択・解除できます。
   - 選択したままのフィールドの降順はそのまま残り、新しく選択したフィールドは昇順になります。

3. 並べ替え対象フィールド（必須）　：キーにするフィールドの行をクリックして選択します（もう一度クリックで解除）。
   - 左端の番号は選択した順番です。この順に1つ目のキー、2つ目のキー・・・になります。途中のキーを解除すると、番号が詰められます。
   - 見出しのチェックボックス（またはCtrl+A）で、すべてのフィールドを行の順に選択します。チェックを外すと、すべての選択と降順が解除されます。

4. 降順　：選択したキーの「降順」をオンにすると、そのキーは大きい順（日付は新しい順）になります。オフの場合は小さい順（昇順）です。
   - 選択していない行の「降順」をクリックすると、その行が選択されます（降順はオフのままです）。
   - キーの選択を解除すると、降順もオフになります。

5. 《フィールド選択》ボタン　：フィールドの一覧を開き、「その他出力フィールド」をまとめて選択・解除できます。

6. その他出力フィールド（任意）　：キー以外に出力するフィールドの行をクリックして選択します。
   - 選択した順に、キーのフィールドの後ろに並びます。キーと同じフィールドを選択しても、1回だけ出力されます。
   - 選択しない場合は、キーのフィールドだけが出力されます。
   - 見出しのチェックボックス（またはCtrl+A）で、すべてのフィールドを選択します。

7. 《式ビルダー》ボタン　：「式ビルダー」画面を開き、フィールドや関数を選んで条件式を作成できます。

© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

8. 条件式（任意）：並べ替えるレコードの条件を入力します。条件に合うレコードだけが並べ替えられて出力されます。空欄の場合は、すべてのレコードが対象です。
   - 入力中に、関数やフィールドの候補が表示されます（Ctrl+Spaceで表示、Escで閉じます）。
   - 「×」で入力内容を消去します。正しい条件式であることを確認すると、緑の「✓」が表示されます。
9. 《検証》ボタン：条件式が正しいかを確認します（Ctrl+Enter）。誤りがある場合は、メッセージが表示されます。
10. ファイル保存先（必須）：作成するテーブルの名前を入力します。
    - テーブル名だけの場合は「04_table」フォルダに、「フォルダ名¥テーブル名」の場合はそのフォルダに作成されます。フォルダがない場合は作成されます。
    - 拡張子（.hdf5）は省略できます。「04_table」フォルダ以外の場所には保存できません。
    - テーブル名の長さは、64文字までです。
    - 記号（「-」「.」「＃」など）や全角スペースは使用できません。名前の最後に「¥」「/」、途中に「..」は入力できません。
    - 元のテーブルと同じ名前は使用できません（大文字・小文字やフォルダが違っても同じ名前とみなされます）。
    - 同じ名前のテーブルがすでにある場合は、上書きしてよいかの確認メッセージが表示されます。「いいえ」を選択すると、実行せずに画面に戻ります。
11. 《参照》ボタン：保存画面を開き、保存先を選択できます。
12. コマンド：現在の設定で実行されるコマンドが表示されます（「◇操作ログ」参照）。キーを選択すると表示されます。
13. 《コピー》ボタン：コマンドをクリップボードにコピーします。
14. 《キャンセル》ボタン：実行せずに画面を閉じます（Escキー）。確認メッセージで「はい」を選択すると閉じます。
15. 《実行》ボタン：実行します（Enterキー）。テーブルが作成されると、画面が閉じ、作成したテーブルが開きます。

◇並べ替えの結果

キーと降順の設定によって、レコードは次のように並びます。例は「◇機能」と同じテーブルです。

■ 降順にした場合

キー「数量」の「降順」をオンにすると、数量の大きい順に並びます。

元のテーブル

売上日	商品No	単価	数量
2024/04/10	B02	800	3
2024/05/20	A01	1200	4
2024/06/15	C03	500	10
2024/07/01	A01	1200	2



並べ替えたテーブル（キー：数量［降順］、その他：すべて）

数量	売上日	商品No	単価
10	2024/06/15	C03	500
4	2024/05/20	A01	1200
3	2024/04/10	B02	800
2	2024/07/01	A01	1200

© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

■ キーを複数指定した場合

1つ目のキー「商品No」（昇順）の値が同じレコードは、2つ目のキー「売上日」（降順）の順に並びます。

元のテーブル

売上日	商品No	単価	数量
2024/04/10	B02	800	3
2024/05/20	A01	1200	4
2024/06/15	C03	500	10
2024/07/01	A01	1200	2



並べ替えたテーブル（キー：商品No、売上日［降順］）

商品No	売上日	単価	数量
A01	2024/07/01	1200	2
A01	2024/05/20	1200	4
B02	2024/04/10	800	3
C03	2024/06/15	500	10

※キーごとに、昇順・降順を指定できます。2つ目のキーは、1つ目のキーの値が同じ場合だけ使われます。

■ 条件式を入力した場合

条件に合うレコードだけが並べ替えられて出力されます。例は、キー「数量」（昇順）、「その他出力フィールド」は「売上日」「商品No」、条件式「[数量] >= 3」の場合です。

元のテーブル

売上日	商品No	単価	数量
2024/04/10	B02	800	3
2024/05/20	A01	1200	4
2024/06/15	C03	500	10
2024/07/01	A01	1200	2



並べ替えたテーブル

数量	売上日	商品No
3	2024/04/10	B02
4	2024/05/20	A01
10	2024/06/15	C03

※条件に合うレコードがない場合も、フィールドだけの（レコードが0件の）テーブルが作成されます。

■ 値の並び順

データ型によって、値は次の順に並びます（昇順の場合。降順はその逆です）。

※数値型（整数・10進数）は数値の大きさの順、日付型は日付の順です（マイナスの値は0より前です）。
※文字型は、1文字目から順に文字コードで比べます。読み方や辞書の順ではありません。
※文字型の数字は、文字として比べます（例：「10」は「9」より前になります）。
※大文字・小文字、全角・半角、前後の空白は区別されます。英字は大文字がすべて小文字より前に、全角の英数字は半角の英数字より後になります。
※文字型の空欄は最初に、先頭に空白がある値は英数字より前に並びます。
※日本語は、ひらがな、カタカナ、漢字、半角カナの順です。漢字は文字コードの順です。

元のテーブル（商品Noは文字型）

商品No
B01
a01
10
A01
A 0 1
9



並べ替えたテーブル（キー：商品No）

商品No
10
9
A01
B01
a01
A 0 1

© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

◇入力内容に誤りがある場合

《実行》ボタンをクリックしたときに、キーが選択されていない（「その他出力フィールド」だけを選択した場合も含みます）、保存先が空欄などの誤りがあると、画面の左下にメッセージが表示され、該当する項目が赤枠で示されます。項目を修正するとメッセージは消え、《実行》ボタンが使用できるようになります。



※条件式に誤りがある場合（フィールドがない、文字と数値を比較しているなど）は、実行時に誤りの内容を示す画面が表示されます。画面は閉じないので、条件式を修正してもう一度実行してください。

◇操作ログ

OPEN "元のテーブル"
SORT ON [キー1] **D** [キー2] **D** ･･･ **FIELDS** [フィールド1] ･･･ **IF** 条件式 **TO** "保存先" **OPEN**

各キーワードの意味は、次のとおりです。

キーワード	内容	設定内容
OPEN "元のテーブル"	並べ替える元のテーブルを開きます	1
SORT ON [キー1] ･･･	キーのフィールド。選択した順に記述します	3
D	キーの後に記述すると、そのキーは降順になります	4
SORT ON ALLFIELDS	すべてのフィールドを行の順にキーにします（昇順）	3
FIELDS [フィールド1] ･･･	キー以外に出力するフィールド（「FIELDS ALLFIELDS」はすべて）	6
IF 条件式	並べ替えるレコードの条件	8
TO "保存先"	作成するテーブルの名前（保存先）	10
OPEN（最後）	作成したテーブルを開きます	—

※すべてのフィールドを行の順にキーにし、降順のキーがない場合は、「SORT ON ALLFIELDS」と記述されます。
※下線部は、降順のキー、「その他出力フィールド」、条件式を設定した場合に記述されます。

■ コマンドを直接記述する場合（スクリプトなど）

※フィールド名は「[ ]」で、テーブル名は「"」で囲んで記述します。
※降順は、キーの後に半角の大文字「D」を記述します。小文字の「d」はエラーになります。
※キー（1つ以上）と「TO "保存先"」は省略できません。同じフィールドを2回キーにしたり、テーブルにないフィールドを記述したりするとエラーになります。
※最後の「OPEN」を省略すると、テーブルは作成されますが、開かれません。

オプションの例（「◇並べ替えの結果」と同じテーブル。「TO "保存先" OPEN」は省略）

コマンドの記述	並べ替えの結果
SORT ON [商品No] FIELDS ALLFIELDS	商品Noの昇順に並べます（「◇機能」の例）
SORT ON [数量] D FIELDS ALLFIELDS	数量の大きい順に並べます
SORT ON [商品No] [売上日] D FIELDS ALLFIELDS	商品No順、同じ商品Noは新しい日付から並べます
SORT ON [商品No]	「商品No」だけのテーブルになります
SORT ON [数量] FIELDS [売上日] [商品No] IF [数量] >= 3	数量が3以上のレコードを数量の順に並べます

例

OPEN "売上¥売上明細"
SORT ON [商品No] [売上日] D FIELDS ALLFIELDS TO "売上¥売上_商品順" OPEN

© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.